



みなみ ゆきお コーチ
南 由起夫

コーチに就任したのは、今から14年前です。それまでのソフトボール部は、大阪大会での1回戦敗退が続いていました。大阪大会、近畿大会を勝ち抜いて初めて、全国大会の切符が得られます。簡単なことではありません。就任してからは、練習内容を一新し、基本に忠実に、特に守備の練習を重点的に行っています。

コーチが語る！ソフトボール部の軌跡

今では9度の全国大会出場、うち2度の優勝を誇る良いチームへと成長しました。

「岸城なら勝つて当たり前」と、周りからのプレッシャーも大きいですが、これも部として結果を残し続けてきたから。

岸城中学校ソフトボール部史上初となる、全国大会2連覇への道は、すでに始まっています。



穴あきグラブ



一般的なグラブ



ユニークな練習の数々！

～個々の能力を引き出すオリジナル練習法～

岸城中学校ソフトボール部には、実にユニークで、独特な練習が多くあります。その独自性が注目され、練習法がDVD化されるほど。ノック練習1つをとってみても、ポジションにこだわらず、1塁から本塁まで全ての守備位置で、部員が練習をしています。

また、普段からウェブと呼ばれるグラブの親指と人差し指の間にあ

る部分を取り外した、「穴あきグラブ」を使用して、キャッチボールなどを行っています。これは、しっかりとグラブの芯で捕球出来るようにと取り入れているものです。

このようなユニークな練習を行うことで、部員それぞれが持つ能力を最大限に引き出し、個々に合ったポジションや打順を決めています。

得ることが出来た勝利でした。南コーチも試合中、1球、1プレーに自分の全力を出せたのかを部員に問います。たったの1球。その1球に泣き、その1球に笑う者がいる。目の前の1球を、決して諦めることなく追い続けてきた結果が、全国大会での優勝でした。

「心鍛えて唯一球」 全ての思いをその1球に

チームの合言葉は、「心鍛えて唯一球」どんなに苦しい状況でも、前を向く心を。そして、目の前にある1球に全てを懸ける。全国大会の準々決勝では、リードを許した展開で、最終回の2アウトからサヨナラ勝ちを収めています。合言葉を胸に、どんなに苦しい時でもお互いに声を掛け合って、みんなで最後まで戦ったから

皆を支える大きな味方
「親」の目から見た部活動
子どもたちを見ていると、今までサポートしてくれた人たちへ、「全国大会優勝」という形で恩返ししたいという気持ちが、大きかったように思います。それに向かって一生懸命に頑張る子どもたちのために、親として出来ることをただけです。
また、家庭でソフトボールの話をすることは、あまりありません。そういう意味では、気持ちの切り替えが上手く出来ていたのではないかと思います。
全国大会では厳しい局面でも、みんなが笑顔でプレーしていたので、どこか安心して見ていられた。練習に行きたくない、ソフトボールを辞めたい。そんな苦しいときも、ずっとそばで見えてきたからこそ、今回の全国大会での優勝は、親としても一生に残る思い出になりました。

ソフトボールだけ 出来ればいい訳じゃない！

ソフトボールだけでなく、勉強や学校生活なども、きちんと取り組むことが部の方針です。それが出来ないことが理由で、試合や練習に参加出来ないこともあります。

ソフトボールが上手く出来るからといって、勉強を疎かにしている訳ではありません。勉強や普段の学校生活があつてこそその部活動です。「勉強とソフトボールの、どっちも出来る方がカッコいい。」と

南コーチは言います。また、部活動を通じて学ぶことは、何もソフトボールの技術だけではなく、何となくみんながサポートしてくれる、今のこの環境が、決して当たり前ではないこと。一緒に泣いて一緒に笑い合える、かけがえない仲間の大変さ。技術の向上だけでなく、ソフトボールを通じて学ぶ大切なことがそこにはあります。



取材を終えて

全員がソフトボールに直向きで、何より笑顔でプレーしているのが、とても印象的でした。

頑張ったからといって、目標に手が届くとは限りません。しかし、そこに多くの人の支えがあれば、その頑張りが実を結ぶのだと感じました。

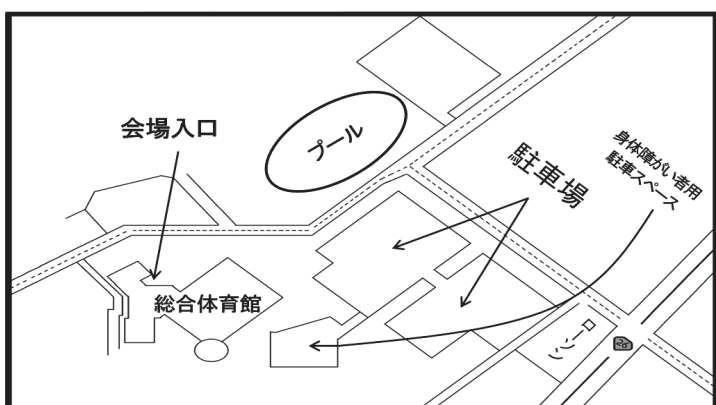
また2020年の東京五輪から、ソフトボールが3大会ぶりに競技として復活します。すでに、16歳以下の日本代表チームに選ばれている部員もあり、将来の活躍が楽しみです。

成人式

平成29年度（平成30年）



会場周辺図



成人おめでとうございます。
新成人の皆さま、ぜひご参加ください。

○手話通訳をご希望の方は、当日受付までお越しください。
○車いすスペース利用の方は当日係員にお声掛けください。
○現在、転居等で他市にお住まいの新成人も参加できます。
○郵送での通知はいたしません。
○申込みは不要です。

【日時】平成30年1月8日（月・祝）
午前11時～正午（開場は午前10時半）

【場所】総合体育館（西之内町45-1）

【対象者】平成29年4月2日～
平成30年4月1日生まれの人

前年度アンケート結果
人間一生学習をする
そのことが、人生を楽
しく過ごせるというこ
とを公民館で教わり、
知ることができました

前年度アンケート結果
・さまざまな団体、
人と知り合えた
・改めて人との対話、
つながりが大切な
ことがわかった
・今日来てよかった、
またやってほしい

「前回のテーマ」
前年度は、「担い手
づくり待ったなし、
寄って話してつな
がろう」というテーマ
でグループワークを
行いました

つながろう すべてを越えて
～共に学びあい、語りあおう～

第20回 いきいき市民のつどい

平成30年1月27日（土）午後1時30分～3時30分
産業会館（別所町3丁目13-26）

定員 200人（申込先着順）
参加費 無料
保育 1歳半～就学前児童（申込先着15人）
申込 平成30年1月12日（金）までに住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、
FAX・電子メール又は電話、生涯学習課の窓口にてお申込みください。
（保育・手話通訳・要約筆記が必要な場合は、事前にご連絡ください）

【問合せ・申込先】岸和田市教育委員会生涯学習部生涯学習課

☎：423-9615・9616 FAX：423-3011
✉：syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

熱くなれること、ありますか？

「子育てが楽しくなるまちをつくろう」 プロジェクト!チーム

「子どもを連れてのおでかけは、
楽しいこともいっぱいだけど、不便だ
なあ」「引っ越してきたばかりなので
地域のことを知りたい」「子育て環境
をよくしたい!」子育て中のママなら、
そんな思いを抱いている人は多いは
ず。

9～11月に市立公民館で『ママた
ちがつくる「乳幼児連れのおでかけ
MAP」』講座が開催されました。この講座の受講がきっかけで、
「子育てが楽しくなるまちをつくろう」という思いを持ったママたち
が集まりプロジェクト!チームで活動しています。全3回の講座で
学んだMAP作りのノウハウや他市の事例を参考に、現在、知恵と
情報を持ち寄って、身近な情報を載せた「便利で使える」子育て
MAPを作るために奮闘中です。家事と育児の両立は楽しいけれ
ど大変です。だけど、子育て中の今だからこそ感じることで、できる
ことがあります。「便利で使える」MAPを作るだけでなく、様々
な人と繋がり、学んで語り合いながら、子どももママも楽しい時間
を過ごしています。途中参加も大歓迎です。当日は、MAP作りの
経過報告とどうしてそんなに熱くなれるのか!?を語ります。



岸和田シティプロモーション推進協議会

「まちへの思いが、まちを動かす。」この言葉をキャッチフレーズ
に、岸和田を“ええまち”にしようと市民・企業が主体的に集まり、
平成28年5月、岸和田シティプロモーション推進協議会(kcp)が
発足しました。国内外に岸和田の魅力を知らってもらうために、地
域資源活性化委員会、地域事業推進委員会、ソーシャルサポー
ト委員会、広報・財務委員会の4つの委員会に分かれ、地域を盛
り上げる仕掛け作りをしています。今年3月にはkcpはじめての単
独事業として地蔵浜みなとマルシェで「Kishiwada-X(キシワダ
エックス)」を開催しました。スケートボード、インラインスケート、B
MXのハーフパイプショーや、BMX&ランバイク体験など、若者だ
けではなく、世代や地域を越えて繋がり、楽しむ場となりました。

自分たちのまちが“誇れるまち”になるように、知恵を出し合っ
て皆の力で作りあげていく面白みがあるからこそメンバーが集ま
ります。地域の様々な団体が多面的に繋がれば、もっと大きなこ
とができるのではないかと考えています。
今ここにある資源を活かし輝かせ
るために、自分たちができることを
しています。同じ思いの仲間ととも
に岸和田の未来を語り、一緒に動
かししょう!当日は、岸和田に対
する熱い思いを語ります。



岸和田市青年団協議会

岸和田で青年団と聞くと、「だんじり」を連想する方
も多いと思いますが、「自分
たちのまちを元気にしたい!
若者たちのよりよい未来の
ために!」という熱い思いで、
青少年の健全育成や地域
社会への貢献などにも取り
組んでいます。昭和26年に
発足し、現在市内10地区64
単位町の青年団が加盟しています。

初夏には、害虫駆除のための薬剤散布を同会が中心になって
行っています。また、東日本大震災後の復興支援として、義援金
を募り、2回にわたり計58名が宮城県を訪問しました。津波被害を
受けた家屋の片づけ、泥出しや瓦礫撤去などのボランティア、太
鼓のだんじり囃子で激励を行いました。
だんじり祭を通して培われた人と人とのつながりやお互いをいた
わり合う気持ち、助け合いの精神、そして何より「直接届けたい」
「役に立ちたい」という思いが、この活動に繋がりました。
当日は、活動内容や活動していく中での楽しさ、難しさやこれからの
活動について語ります。



今回のつどいは？

今回は以下の活動団体に、岸和田市を盛り上げるた
めの熱い思いを語っていただきます。お話しのおとは、
参加者が気になったこと、聞きたいことを気軽にカフェ
気分です語りあうことができる場をご用意しています。
ぜひご参加ください。

オープニングは
久米田高等学校
ダンス部!!

いきいき市民のつどいって？

生涯学習推進本部※が、地域で様々な活動をしてい
る人、してみたいと思っている人たちが繋がること、
繋がりを広げる場となることを目的に、企画・運営し
ています。いきいき市民のつどいは、前身の「年輪の
つどい」を含めて今回で20回目となります。
※生涯学習推進本部・・・生涯学習のまちづくりを
市民ぐるみで推進するために設置された、行政、教育
委員会、市民団体の代表等で構成される組織です。

